

## 情報連携基盤センター本館地階の浸水事故と対応について

伊藤 正彦

### I. 事故の概要

本年1月22日(月)午前5時25分ころ、情報連携基盤センター(以下「センター」という)の本館1階にある防災監視盤に新館3階計算機室の電源切断の警報及び信号表示があったため、当日勤務の警備員から、会計掛長及び富士通(株)関係者に通報がありました。緊急出勤した会計掛長は、エネルギーセンターに事故調査の協力を要請し、中部保安協会係員と事故状況調査を行ったところ、本館地階の機械室及び電気室が床上約25cm浸水していることを確認しました。この浸水により電気系統に障害が生じ、館内への電源供給が一部停止したため、全国共同利用システム(スーパーコンピュータ等)、国立情報学研究所の学術情報ネットワーク(SINET)及び学内情報基盤サービスの運用に支障を生じさせました。

### II. 事故の原因

センター本館は、昭和46年に建築されて以来36年が経過し、老朽化が進んでいます。また、センターの建物は常に湧水が発生する場所にあるため、地階に排水設備が設けられ、排水ポンプにより湧水を排出しています。事故日前の18日(木)にはファシリティサービス業者により、また19日(金)には中部保安協会により、それぞれ関係設備等の点検と確認が行われており、特に異常は認められなかったとの報告を受けていますが、その後、事故日前々日の20日(土)、前日の21日(日)に何らかの事情により床上約25cm浸水し、排水ポンプの異常などとも関係して十分な排水ができなかったものと考えられます。

### III. 平素の管理状況

センターでは、平日の午後5時から翌日午前8時30分まで、及び土曜日、日曜日、祝日、年末年始等の休業日の終日においては建物管理業務を警備会社に委託し、また、空調設備等の保守や、雑排水及び汚水ポンプの運転、定期点検などについても業務委託し、建物、設備等の管理を行っています。

### IV. 緊急対応

事故は、午前5時25分ころの早朝に発生しましたが、センター長の指揮の下、以下の対応が行われました。

- ・総務担当理事、事務局関係部署への通報

- ・センター対策会議の設置（状況把握，対応策の検討）
- ・全国共同利用システムの稼働状況確認
- ・NICE，事務用 LAN の稼働状況確認，NICE 部局管理者への連絡
- ・国立情報学研究所への SINET 停止の通報，関係機関への連絡
- ・学内情報基盤サービスの稼働状況確認
- ・各部局への状況報告（情報企画課へメール通知発出の依頼）
- ・仮設電源，排水ポンプ，電源車の手配
- ・センター，施設管理部，関係業者との打合せ
- ・仮設排水ポンプによる排水と既設排水ポンプの取替え
- ・電源関係の状況確認
- ・仮設電源から常設電源への切替え
- ・地階電源コンセントの絶縁不良，AC 変換器の不良などの確認と取替え など。

NICE，事務用 LAN については正常稼働が確認できましたが，SINET の運用に問題があったため，仮設電源を用意して同日正午頃に対外接続を可能とし，午後 7 時 40 分には，仮設電源を常設電源に切り替えて正常運用が可能となりました。また，各種の情報基盤サービスについては，午後 8 時 10 分ころ大凡の正常運用ができました。なお，全国共同利用システム（スーパーコンピュータ等）については，電源供給容量等の問題と電源設備の安全確認のために時間を要したため，翌 23 日（火）午前 8 時に電源投入が可能となり，正常運転ができました。

## V. 再発防止

センターには，本館地階に電源設備が 2 箇所がありますが，今回浸水した電源設備は，浸水しなかった電源設備より低い位置にあります。また，地階水槽関連の警報通知ルートの強化・再整備，漏水検知装置の設置，施設設備管理方式の強化，定期的な点検マニュアルの再確認などの問題点等について，施設管理部の協力を得て見直しを行い，以下の再発防止対策案が纏められました。

### 【停電対策】

- ①トランスの統廃合，②電気室・機械室の改修（電気室の配電盤再配置，電気室の改修に伴う床の嵩上げ），③排水ポンプの増設（制御盤新設）など。

### 【耐震対策】

- ①耐震補強等（外部壁の増設，内装改修，外壁補修など），②既設エレベータの耐震措置など。

この再発防止対策案に基づき，センター施設基盤再整備案が作成され，センター運営委員会での審議を経て，総長，関係理事，事務局関係部課へ予算措置等の要請と，全学のご理解を得て，可能な限りの工事が行われることになりました。

## VI. おわりに

センターの提供している全国共同利用システム，学内情報基盤サービスは，大学の教育，研究，管理運営などの基盤であり，その重要度が高まっています。再度このような事故が起こらないように施設マネジメント意識を高め，最善を尽くす必要を感じています。

皆様には大変ご迷惑をおかけし，誠に申し訳ありませんでしたが，今後ともセンター運営にご理解ご協力ご支援を賜りますようお願いしています。

最後になりましたが，ご協力いただいた関係の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

(いとう まさひこ：情報文化学部・情報科学研究科事務長  
前名古屋大学情報連携基盤センター事務長)